

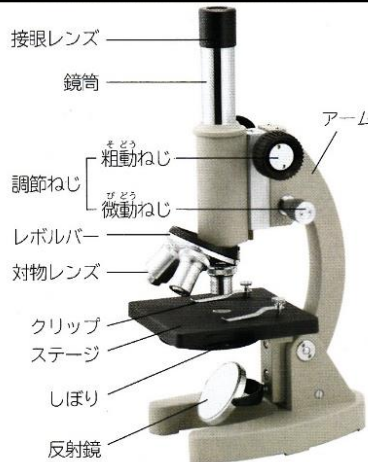
顕微鏡の使い方 (教科書 P18、19)

1 顕微鏡の種類

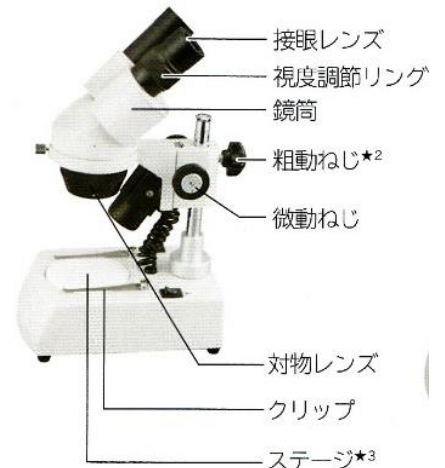
ステージ上下式顕微鏡



鏡筒上下式顕微鏡



双眼実体顕微鏡



戸塚中学校で主に使用するのは「ステージ上下式顕微鏡」ですが、反射鏡がLED 光源です。鏡筒上下式顕微鏡は使用しません。双眼実体顕微鏡もほぼ使いません。

「しぼり」は明るさの調節です。

☆使い方

1 明るさを調節する。

直射日光が当たらない明るいところに顕微鏡を置く。反射鏡の角度としぼりを調整して、視野全体が一樣にもっとも明るくなるようにする。



LED 光源を使用するため調節はいりません

2 プレパラートを近づける。

プレパラートをステージの上にのせ、プレパラートをできるだけ対物レンズに近づける。

対物レンズを横から見ながら、少しずつ調節ねじを回す。

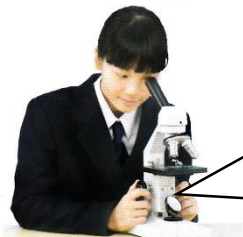


横から見ながら少しずつ

3 ピントを合わせる。

調節ねじを2と反対に回してプレパラートを離していき、ピントが合ったら止める。

接眼レンズをのぞきながら、調節ねじをゆっくりと回す。



ステージを下げるだけ、上げてはいけない

4 しぼりを変える。

ものがいちばんよく見えるように、しぼりを変える。

5 高倍率にする。

倍率を高くする場合は、見るものが視野の中央にくるようにしてからレボルバーを回す。

ステージを下げる必要はありません。

顕微鏡の倍率

接眼レンズが10×、対物レンズが40の場合は10×40で400倍である。ふつう、はじめはもっとも低い倍率で観察し、見たいところを決めてから高倍率に変えて観察する。

顕微鏡の使い方は動画でホームページにありますので参考にしてください。

鏡筒上下式、双眼実体顕微鏡の使い方ともほぼ同様です。